

第4学年社会科学学習指導案

1 小単元名 どうする、ごみ問題！～ごみの有料化とわたしたちの生活～

2 指導観

こんな子どもだから

○ これまでの学習を通して、学習問題の予想をもとに、進んで追究活動をするようになってきた。「ごみ」に対しては、日常あまり意識はしていないが、学級内での紙類のリサイクルは、できている。

(関心・意欲・態度)

○ これまでの学習を通して、地域の発展に尽くした先人の生活の工夫や願い、飲料水の確保にかかわる行政の対策や事業と自分たちの生活との関係について考えることができた。

(思考・判断)

○ これまでの学習を通して、写真・グラフ・年表等の資料をもとに、自分の考えを新聞にまとめることはできたが、発表の場面で、自分の考えを言葉で説明したり、友だちに分かりやすく伝えたりすることに課題を持つ子どもも少なくない。

(観察・資料活用・表現)

○ ごみについての事前調査では、ごみを、可燃物、不燃物、リサイクルごみに分けて出すことは知っているが、このようなごみの処理が、自分たちの健康な生活に役立っていることに気付いている子どもは少ない。

また、ごみは、不要な物であるというイメージを持っている子どもが多かった。

(知識・理解)

こんな教材で

本小単元は、福岡市のごみの実態に課題を持ち、ごみの処理の仕方の工夫、廃棄物を資源として活用する取組、最終処分場の確保にかかわる計画的、協力的な取組を調べることを通して、これらの対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えることをねらいとしている。

「ごみ問題」は、大きな社会問題である。近年では、地球温暖化の視点から、ごみを減らそうという取組が様々なところで推進されている。

福岡市は、平成9年に3分別の実施、平成17年にごみ袋の有料化実施を行い、ごみ減量に取り組んできた。その成果として、福岡市の人口が増えているにも関わらず、平成19・20・21年度とゴミの排出量は減少してきている。

本小単元でこの福岡市のごみ袋の有料化を取り上げることは次の点で価値があると考えられる。

- ① ごみ袋の有料化の取組は、子どもたちが家庭や学校で日常的に目にすることができ、高い関心を持って追究することができると考えられる。
- ② ごみ袋の有料化の学習を通して、循環型社会を目指す福岡市のごみ減量への取組を知るとともに、行政・企業・家庭とが協力して、ごみ減量に取り組んでいることに気付くことができる。
- ③ ごみ減量に向けた行政の取組や各家庭での分別、リサイクルの仕方について調べることを通して、福岡市に住んでいる一人一人のごみに対する意識の向上（ごみを出さないための工夫やごみ出しのルールへの遵守）が不可欠であることに気付くことができる。

以上のように、ごみ問題の実態を理解し、処理の仕方やごみ減量への取組を追究することを通して、福岡市が抱えるごみ問題について、自分のこととして考えることが期待できる価値ある教材であると考えられる。

こんな方法で

【つかむ段階】

福岡市のごみの現状から学習問題をつくるために、次の手立てをとる。

- 家庭から出るごみの量や種類、分別の仕方、福岡市の1日に出るごみの量やごみ処理にかかる費用について知らせる。
- 平成17年にごみ袋にお金がかかるようになったことから疑問をもたせる。

学習問題

なぜ、福岡市は、ごみ袋を有料化したのだろう。

自分の予想をはっきりさせ、追究の見通しを持たせるために、次の手だてをとる。

- 学習問題に対する予想「A：ごみ袋にお金がかかるから」「B：ごみを減らしたいから」という2人の代表児童の予想の違いを中心に話し合わせ、友だちとの考えの違いを意識させながら自分の予想を確かにさせる。

【さぐる段階】

こだわりをもって追究活動ができるように、次の手立てをとる。

- 「ごみ袋にかかるお金」「有料化でごみは減るのか」「有料化を実施して、どのような効果が見られたのか」を資料や〇〇校区内にある環境局循環型社会推進部〇〇部事業所の□□さんに聞き取りながら調べさせる。
- 学習問題に対する自分の考えが一目でわかるようにキーワードを使って、表現物にまとめさせる。

【まとめる段階】

学習問題に対する確かな自分の考えを持たせるために、次の手だてをとる。

- 表現物を活用しながら、「A：ごみ処理にお金がかかるから」「B：ごみを減らしたいから」の2人の代表児童の考えをもとに、友だちの考えのいいところを取り入れたり、自分の考えを見直したりして、「ごみを出す側の責任とごみ減量への意識付けのため」という学習問題の答えを導き出す。そのために、ごみ袋の有料化は、福岡市のごみ処理にかかる費用の負担軽減のためだけでなく、ごみ減量を大きな目的としているというAとBの関係に気付かせる。
- 環境局の□□さんからのビデオレターをもとに、ごみ減量への取組に対する意識を高め、自分たちにできることについて考えさせる。

こんな子どもへ

- 自分たちが出している大量のごみに課題意識を持ち、進んで追究活動を行い、よりよい地域をつくっていくために、自分たちにできることを実践しようとする子ども
(関心・意欲・態度)

- 行政が計画的・協力的にごみ処理を行っていることや、各家庭がごみ減量に取り組んでいることに気付き、市民一人一人のごみ減量への取組の必要性や、ごみの分別のルールを守ることの大切さについて考えることができる子ども
(思考・判断)

- 福岡市のごみに関する資料や見学で聞き取った内容をもとに、学習問題に対する自分の考えをつくることができるとともに、その考えとわけを言葉で説明したり友だちに分かりやすく伝えたりすることができる子ども
(観察・資料活用・表現)

- 福岡市のごみの実態やごみ処理の仕組みについて知り、ごみ処理にかかわる対策や事業が、自分たちの健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることについて理解することができる子ども
(知識・理解)

3 指導計画 (12時間)

段階	配時	学習活動と内容	支援
つ か む	4	<p>1 家庭から出るごみの実態と分別の仕方について調べ、気付いたことを話し合う。</p> <p>(1) 家庭から出るごみの実態と分別の仕方について調べる。</p> <p>(2) 家庭から出るごみの実態と分別の仕方について話し合う。</p> <p>② 2 福岡市のごみの現状について知り、ごみ有料化の実施をもとに、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 福岡市の1日に出るごみの量は、約1700トンであることを知る。</p> <p>(2) 福岡市の1年間に出るごみの量(ドーム2杯分)と、それを処理する際にかかるお金(215億円:約体育館86個分の建築費)について知る。</p> <p>(3) 1年間で工場で処理できるごみの量と1年間で排出される燃えるごみの量のグラフから、ごみ減量の必要性を知る。</p> <p>(4) 赤・青・黄色のごみ袋を提示し、平成17年以降、ごみ袋にお金がかかるようになったことを知り、学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習問題</p> <p>なぜ、福岡市は、ごみ袋を有料化したのだろう。</p> </div> <p>(5) 学習問題に対する予想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを処理するのにお金がかかる←年間の処理費用 ・ごみを減らしたい←1日・1年間のごみの量 	<p>○ 自分たちがどれくらいのごみを出しているかを実感させるために、家庭から出るごみの種類や分別の仕方、実際にどんなごみがどれくらい出ているのか一週間調べさせる。</p> <p>○ 福岡市のごみの現状に気付かせるために、福岡市が出すごみの量やごみ処理にかかる費用、ごみ処理施設について資料やグラフでおさえる。</p> <p>○ 学習問題へとつなぐために、有料化前後のごみ袋の値段を比較し、「なぜ、ごみ袋を有料化したのか。」という疑問をもたせる。</p>
	① 本 時 1 組	<p>3 学習問題に対する予想を交流し、自分の考えを書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【A:ごみ処理にお金がかかるから】</p> <p>多分、ごみを処理するお金が、年間に215億円もかかっている、このままごみが増え続けると、ごみを処理するお金が足りなくなって困るから、ごみ袋を有料化したのだと思います。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【B:ごみを減らしたいから】</p> <p>多分、みんながごみを出し過ぎていたので、ごみを減らしたいと考えたからだと思います。つまり、ごみ袋の有料化にすることで人々にごみを減らそうと考えてほしかったから、有料化したのだと思います。</p> </div> </div> <p>(1) 2人の代表児童の予想をもとに話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな処理に、どれくらいのお金がかかるのか。(処理場の建設費、人件費、運搬費、処理費、維持費等) ・有料化で、ごみが減るのか。 ・有料化で、自分たちの生活が、どう変わったか。 <p>(2) 学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>学習を見通す活動</p> <p>自分の考えをはっきりさせ、追究の見通しをもたせるために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ごみ調べやごみを出した体験・福岡市のごみの実態から、自分の予想を表現物に表しておく。 ○ 「A:ごみ処理にお金がかかるから」「B:ごみを減らしたいから」の2人の代表児童の考えの違いをもとに、AとBの考えの違いを意識させながら、自分の予想にこだわりをもたせる話し合いを行う。 </div> <p>○ 見通しを持った追究活動が行えるように、何を調べるのか内容を確認する。</p>

さ
ぐ
る
ま
と
め
る

- 5 4 追究活動を行い、自分の考えをまとめる。
- ③ (1) 資料やインターネットで調べたり、環境局の□□さんから話を聞いたりする。
- ・ごみ処理にかかる費用や処理の仕方
 - ・有料化による生活の変化とごみの量
 - ・ごみ減量のための様々な取り組み
- ② (2) 調べたことをもとに、「学習問題に対する自分の考え」を表現物にまとめる。

2 5 学習問題に対する考えを交流し、自分の考えを確かなものにする。

①
本
時
2
組

【Aごみ処理にお金がかかるから】

- ・ごみを処理するには、多くのお金がいる。1年間にごみを処理する際にかかったお金は、約215億円。
- ・ごみ処理場には、限度があり、新たに造らなければいけなくなると、お金がたくさんいる。だから、有料化した。

【Bごみを減らしたいから】

- ・ごみを出すのにお金がかかれば、お金がもったいないと思って、みんながごみを減らそうと意識して、ごみが減る。
- ・有料化したことで、実際に17年度以降、ごみの量が年々減ってきた。このように、ごみを減らしたいから有料化した。

- (1) 2人の代表児童の考えをもとに話し合う。
- ・ごみ1袋分の処理にかかる費用
 - ・ごみを集める費用
 - ・有料化で、減ったごみの量
 - ・有料化で変わってきた生活スタイル
- (3 R, ごみの分別の仕方, エコバック等)
- (2) 学習問題に対する自分の考えをまとめる。

福岡市が、ごみ処理を有料化したのは、

- お金を払うことで、ごみを出す人に責任をもってほしい。
- ごみを減らそうとする気持ちをもってほしい。と考えたからです。

- (3) 環境局の□□さんからのビデオレターを観て、確かめる。
- ・循環型社会を目指す福岡市「循環のまち・ふくおか」
 - ・市民一人一人のごみ減量への取組の必要性
 - ・ごみの分別のルールを守ることの大切さ

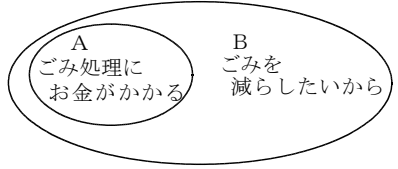
- ① 6 自分たちにできるごみ減量について話し合う。
- ・健康な生活を守る行政の働きを振り返る。
 - ・ごみの捨て方のルールを守っていないごみ置き場の写真を見て、自分たちにできるごみ減量法を考える。

- ・ごみ出しのルールを守って、正しく分別する。
- ・紙ゴミを出さずに、リサイクルする。
- ・いらぬ物は買わない。物を大切に使う。
- ・エコバックを使う。
- ・回収ボックスやリサイクルステーションを利用する。
- ・みんなで協力してごみ減量に取り組む。

- わけが明らかになるように、各自の追究内容に沿って、資料選択をさせたり、聞き取り内容の把握をさせたりする。

交流・評価する活動
自分の考えを確かにするために、

- なぜごみ袋を有料化したのか自分の考えとわけをキーワード化して表現物にまとめ、友だちに伝える準備をしておく。
- 「A：ごみ処理にお金がかかるから」「B：ごみを減らしたいから」の2人の代表児童の考えをもとに、ごみ袋の有料化が、ごみ処理費用の公平化だけでなく、ごみ減量を大きな目的としていたというAとBの関係に気付かせながら、自分の考えを見直し、確かな考えをもたせる話し合いを行う。



- 一人一人のごみ減量の必要性に気付かせるために、環境局の□□さんからのビデオレターを紹介し、福岡市が有料化によって何を1番ねらっていたのか確かめさせる。

- 一人一人が、ごみ問題に向き合い実践していけるように、これまでの学習をふり返り、自分ができるごみ減量法を考えさせる。

4 本時（4 / 1 2） 学習を見通す活動 4年 組教室において

5 本時目標

- 学習問題に対する予想について話し合い，なぜ，福岡市は，ごみ袋を有料化したのか自分の考えをはっきりさせ，自分がこれから何について調べていくのか明らかにすることができる。
(思考・判断)

6 本時指導の考え方

本時の指導にあたっては，福岡市がごみ袋を有料化したのはなぜかという学習問題について，各自が立てた予想とそのわけを見直し，追究の見通しをもつことができることをねらいとしている。

そのために，以下のような手だてをとりながら学習を進めていきたい。

手だて（1）自分の予想を友だちに伝える表現物づくり

- 話し合い活動では，発表するときに，友だちに自分の考えのわけがわかるような表現物を作成する。

A：ごみ処理にお金がかかるから	B：ごみを減らしてほしいから
わけ1 ごみ処理費用 年間 215 億円	わけ1 ごみが増える→処理できない
わけ2 ごみが増える→処理にお金がかかる	わけ2 かく家庭：「ごみ袋にお金がかかるのはいやだ」→減らそう！

手だて（2）追究の内容・方法を明らかにする話し合い活動

- 代表児童の予想を黒板に貼り，「A：ごみ処理にお金がかかるから」「B：ごみを減らしたいから」ということが本時の話し合いの中心になることを意識させる。
- 自分の予想と友だちの予想との共通点に気付かせるために，代表児童と似たわけを持つ児童に「A：埋め立て地の建設費用ごみを燃やすお金，ごみ収集車のガソリン代，ごみを集める人のお給料等，ごみが増加すればそれに比例してお金がかかるから」や「B：『お金がかかるからごみを出したくない』とみんなに思ってほしいからごみ袋を有料化した」などのわけを付け加えさせる。
- 自分の予想にこだわりを持たせるために，友だちの予想との違いを明らかにして，自分の予想を再度見直させる。その際，A から B へ「ごみ袋が有料化されてから本当にごみが減っているのか」や，B から A へ「ごみ袋が有料化されてお金は足りているのか」等の質問をさせて，「A：ごみを処理するお金は莫大だから少しでも自分たちがごみ袋にお金を払えばごみが増えてもお金は足りると思うので，Aの予想だと思う」や「B：『お金がかかるからごみ出さないで』と母にいわれたことがあるので，福岡市の人たちみんなにそう思って欲しくて有料化したのだろうから，やっぱりBの予想だと思う」等の見直した予想とわけを発表させる。

7 本時の展開

学習活動と内容	支援		
<p>1 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p> <p>めあて なぜ、福岡市は、ごみ袋を有料化したのか話し合い、見通しをもとう。</p>	<p>○ 本時の学習に臨む準備として、前時までに自分の予想をまとめた表現物をつくらせておく。</p>		
<p>2 学習問題の予想を話し合う。</p>	<p>○ 自分の予想をうまく表現できない児童にもわかりやすいように、代表児童は、わけとして具体的(ごみ処理の費用、有料化による市民の意識の変化など)に説明ができている子どもを選ぶ。</p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>A：ごみ処理にお金がかかるから</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>B：ごみを減らしたいから</p> </td> </tr> </table>	<p>A：ごみ処理にお金がかかるから</p>	<p>B：ごみを減らしたいから</p>	<p>○ A と B の考えの共通点を明らかにするために、代表児童と似た考えをもつ子どもにわけを付け加えさせていく。</p>
<p>A：ごみ処理にお金がかかるから</p>	<p>B：ごみを減らしたいから</p>		
<p>ごみ袋を有料化したのは、多分、ごみを処理するのにお金がかかるからだと思います。わけは、ごみを処理するお金が、年間215億円もかかっていて、もしごみが増え続けるとお金が足りなくなってしまうからです。</p> <p>ごみ袋を有料化したのは、多分、みんながごみを出し過ぎているので、ごみを減らしたいと考えたからだと思います。わけは、ごみを出すのにお金がかかれば、お金ももたないと思って、みんながごみを減らそうと意識して、ごみの量が減ったからです。</p>	<p>○ 自分の予想にこだわりをもたせるために、友だちの予想との違いを明らかにさせ、自分の予想を見直させる。</p>		
<p>(1) 2人の代表児童の予想をもとに、付け加えや質問をする。</p> <p>○ 埋め立て地の建設費用ごみを燃やすお金、ごみ収集車のガソリン代、ごみを集める人のお給料等、ごみが増加すればそれに比例してお金がかかるからごみ袋を有料化した。</p> <p>○ 「お金がかかるからごみを出したくない。」とみんなに思っ てほしいからごみ袋を有料化した。</p> <p>(2) 2つの予想の違いを話し合う。</p>	<p>○ 自分と似た考えをもつ子どもにわけを付け加えさせていく。</p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>○○さんは、「家庭からなるべくごみをださないで欲しいから」といっていたけど、ぼくは、Aの予想だと思います。わけは、ごみを処理するのにもすごいお金がかかっていて、福岡市は、ごみを出している人にもお金を払ってもらいたいから有料化したのだと思うからです。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>○○君は、「働く人やごみを焼却する人にお金がかかるから」といっていたけど、私は B の予想だと思います。わけは、私も実際にお金がかかるからごみ出さないで。」と母にいわれたことがあるので、福岡市の人たちみんなにそう思っ て欲しくて有料化したのだと思うからです。</p> </td> </tr> </table> <p>・「有料化してごみが本当に減っているのかな。」</p> <p>・「ごみを出せないならよそでごみを捨てる人がいるんじゃないかな。」</p> <p>・1袋45円払っただけで215億円集めることができるのかなと思います。」</p> <p>・「今までは何のお金でごみを処理していたのだろうか。」</p>	<p>○○さんは、「家庭からなるべくごみをださないで欲しいから」といっていたけど、ぼくは、Aの予想だと思います。わけは、ごみを処理するのにもすごいお金がかかっていて、福岡市は、ごみを出している人にもお金を払ってもらいたいから有料化したのだと思うからです。</p>	<p>○○君は、「働く人やごみを焼却する人にお金がかかるから」といっていたけど、私は B の予想だと思います。わけは、私も実際にお金がかかるからごみ出さないで。」と母にいわれたことがあるので、福岡市の人たちみんなにそう思っ て欲しくて有料化したのだと思うからです。</p>	<p>○ これから自分が調べていくことを具体的に考えさせるために、変更があれば変更をさせる。</p>
<p>○○さんは、「家庭からなるべくごみをださないで欲しいから」といっていたけど、ぼくは、Aの予想だと思います。わけは、ごみを処理するのにもすごいお金がかかっていて、福岡市は、ごみを出している人にもお金を払ってもらいたいから有料化したのだと思うからです。</p>	<p>○○君は、「働く人やごみを焼却する人にお金がかかるから」といっていたけど、私は B の予想だと思います。わけは、私も実際にお金がかかるからごみ出さないで。」と母にいわれたことがあるので、福岡市の人たちみんなにそう思っ て欲しくて有料化したのだと思うからです。</p>		
<p>3 学習問題に対する自分の予想を見直す。</p>	<p>○ 自分と似た考えをもつ子どもにわけを付け加えさせていく。</p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>ごみ袋を有料化したのは、きっと、ごみを処理するのにお金がかかるからだだと思います。わけは、○○さんと似ていて、ごみを処理するお金が、年間215億円もかかっていて、もしごみが増えたら、ごみを処理する工場も建てないといけなくなるし、ごみを集めたり燃やしたりするのに時間やお金がたくさん要るので、お金が足りなくなってしまうからです。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>ごみ袋を有料化したのは、きっと、みんながごみを多く出しすぎているので、ごみを減らしたいと考えたからだだと思います。わけは、ごみを出すのにお金がかかれば、「お金ももたないからごみを減らそう」と意識して、ごみの量が減ったからです。また、○○さんが言っていたように、あまり考えずにごみを捨てる人が多かったので、ごみを減らそうという気持ちを高めるためにお金があるようになったと思います。</p> </td> </tr> </table>	<p>ごみ袋を有料化したのは、きっと、ごみを処理するのにお金がかかるからだだと思います。わけは、○○さんと似ていて、ごみを処理するお金が、年間215億円もかかっていて、もしごみが増えたら、ごみを処理する工場も建てないといけなくなるし、ごみを集めたり燃やしたりするのに時間やお金がたくさん要るので、お金が足りなくなってしまうからです。</p>	<p>ごみ袋を有料化したのは、きっと、みんながごみを多く出しすぎているので、ごみを減らしたいと考えたからだだと思います。わけは、ごみを出すのにお金がかかれば、「お金ももたないからごみを減らそう」と意識して、ごみの量が減ったからです。また、○○さんが言っていたように、あまり考えずにごみを捨てる人が多かったので、ごみを減らそうという気持ちを高めるためにお金があるようになったと思います。</p>	<p>○ 自分と似た考えをもつ子どもにわけを付け加えさせていく。</p>
<p>ごみ袋を有料化したのは、きっと、ごみを処理するのにお金がかかるからだだと思います。わけは、○○さんと似ていて、ごみを処理するお金が、年間215億円もかかっていて、もしごみが増えたら、ごみを処理する工場も建てないといけなくなるし、ごみを集めたり燃やしたりするのに時間やお金がたくさん要るので、お金が足りなくなってしまうからです。</p>	<p>ごみ袋を有料化したのは、きっと、みんながごみを多く出しすぎているので、ごみを減らしたいと考えたからだだと思います。わけは、ごみを出すのにお金がかかれば、「お金ももたないからごみを減らそう」と意識して、ごみの量が減ったからです。また、○○さんが言っていたように、あまり考えずにごみを捨てる人が多かったので、ごみを減らそうという気持ちを高めるためにお金があるようになったと思います。</p>		
<p>4 今日の学習をふり返り、学習の見通しをもつ。</p>	<p>○ 自分と似た考えをもつ子どもにわけを付け加えさせていく。</p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>わたしは、ごみ袋を有料化して、お金が足りているのかを確かめるために215億円のうちのどれくらいを家庭が負担しているのか環境局の人に聞いて調べます。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>わたしは、本当にごみが減ったのか確かめるために、福岡市のごみの量を、有料化前と後とを比べて調べます。</p> </td> </tr> </table>	<p>わたしは、ごみ袋を有料化して、お金が足りているのかを確かめるために215億円のうちのどれくらいを家庭が負担しているのか環境局の人に聞いて調べます。</p>	<p>わたしは、本当にごみが減ったのか確かめるために、福岡市のごみの量を、有料化前と後とを比べて調べます。</p>	
<p>わたしは、ごみ袋を有料化して、お金が足りているのかを確かめるために215億円のうちのどれくらいを家庭が負担しているのか環境局の人に聞いて調べます。</p>	<p>わたしは、本当にごみが減ったのか確かめるために、福岡市のごみの量を、有料化前と後とを比べて調べます。</p>		

4 本時（11 / 12） 交流・評価する活動 4年 組教室において

5 本時目標

- 福岡市は、ごみを出す側の責任を高め、ごみ減量の意識付けを目的にごみ袋の有料化を实践したことに気づき、一人一人がごみ減量を意識することの大切さについて考えることができる。（思考・判断）

6 本時指導の考え方

本時の指導にあたっては、「A：ごみ処理にお金がかかるから」と「B：ごみを減らしたいから」の2つの考えをもとに、AとBを関係付けながら話し合い、ごみ減量の大切さについて考えることができることをねらいとしている。そのために、以下のような手だてをとりながら学習を進めていきたい。

手だて（1）自分の考えを友だちに伝える表現物づくり

- 前時まで、画用紙に追究活動後の自分の考えとそのわけをまとめさせておく。

A：ごみ処理にお金がかかるから		B：ごみを減らしたいから	
資料①	年間のごみ処理にかかるお金 約215億円	資料①	お金もったいないという気持ち→ごみ減量の意識
資料②	ごみ処理場の限度 新たに造る時の予算	資料②	有料化後、ごみの量が減少

- 自分が、A・Bどちらの考えなのかをはっきりと分かるように、色分けして書かせる。（Aの考え…ピンク・Bの考え…水色）
- 考えのわけが一目でわかるように、キーワードを使って、簡潔に書かせる。
- 友だちが納得できるように、考えのわけを、自分の言葉で順序よく説明できるように考えさせておく。

手だて（2）自分の考えを確かにする話し合い活動

- 学習問題に対する自分の考えとわけについて、表現物を活用して、「A：ごみ処理にお金がかかるから」「B：ごみを減らしたいから」の2人の代表児童の考えを発表させる。
- 「有料化しても、ごみ処理に多大なお金が必要なこと」「有料化によって、実際に、ごみが減ったり、ごみを減らす工夫が増えたりしたこと」など、2つの考えと似ている考えを付け加えたり、違う考えに質問したりして、学習問題の答えに迫る。
- 学習問題に対する自分の考えをまとめる場面では、友だちの考えをもとに、自分の考えを見直させる。その際、ごみ袋の有料化は、福岡市のごみ処理にかかる費用の公平化だけではなく、ごみ減量を大きな目的としているというAとBの関係に気付かせる。
- ごみ袋の有料化に対するより確かな自分の考えを持たせるために、環境局の□□さんからのビデオレターをもとに、自分たちの考えが正しいのか確かめる。そして、「福岡市がごみ減量に計画的に取り組んでいること」「ごみ減量は、市民一人一人の協力が必要であること」「ルールを守ってごみを出すことが大切であること」に気付かせ、次時へつなぐ。

7 本時の展開

学習活動と内容	支援
<p>1 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p> <p>めあて 福岡市は、なぜ、ゴミ袋を有料化したのか話し合い、自分の考えを確かめよう。</p> <p>2 学習問題の答えを話し合う。</p> <p>(1) 2人の代表児童の考えを聞く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="167 504 582 828" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: ゴミ処理にお金がかかるから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミを処理するには、多くのお金がいる。1年間にゴミを処理する際にかかったお金は、約215億円である。 ・ ゴミ処理場には、限度があり、新たに処理場を造らなければいけなくなると、お金がたくさんいる。 </div> <div data-bbox="598 504 997 828" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B: ゴみを減らしたいから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミを出すのにお金がかかれば、お金もつたいないと思って、みんながゴミを減らそうと意識して、ゴミが減る。 ・ 有料化したことで、17年度以降、ゴミの量が年々減ってきた。(H15: 71.6万t → H19: 63.8万t) </div> </div> <p>(2) 2人の代表児童の考えをもとに話し合う。</p> <div data-bbox="191 907 981 1366" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 20px; text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【Aに対する付け加え】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1袋あたりにかかるお金</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ゴミ処理にかかるお金</div> </div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">不足分は市が負担</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【Bに対する付け加え】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市民のゴミ減量の意識</div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生活スタイルの変化</div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">有料化の効果少</div> <div style="text-align: center;">↔</div> <div style="text-align: center;">有料化の効果大</div> </div> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ゴミを出す側の責任・ゴミ減量への意識</div> </div> <p>3 学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>(1) 学習問題の答えを書く。</p> <div data-bbox="183 1467 981 1646" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>福岡市が、ゴミ袋を有料化したのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お金を払うことで、ゴミを出す人に責任をもってほしい。 ○ ゴみを減らそうとする気持ちをもってほしい。 <p>と考えたからです。</p> </div> <p>(2) 環境局の□□さんからのビデオレターを観て確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 循環型社会を目指す福岡市「循環のまち・ふくおか」 ・ 市民一人一人のゴミ減量への取組の必要性 ・ ゴみの分別のルールを守ることの大切さ <p>4 「今日の学習で」を書き、話し合いを繰り返す。</p> <div data-bbox="175 1904 981 2060" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○○さんがいっていたように、ゴミを減らすことは、とても大切なことだと思います。福岡市だけでなく、住んでいるわたしたち一人一人が、ゴミを減らそうという意識をもって、ゴミ減量に取り組まなければいけないと思いました。</p> </div>	<p>○ 学習問題に対する自分の考えとわけを確かめるために、「A: ゴミ処理にお金がかかるから」「B: ゴみを減らしたいから」の2人の代表児童の考えとわけを、前時にまとめた表現物を活用しながら発表させる。</p> <p>○ 学習問題の答えに迫るために、似ている考えには付け加えをしたり、違う考えに質問をしたりさせる。その後、有料化によって、どんな効果が見られるかをAとBを関係付けながら考えさせる。</p> <p>○ 確かな自分の考えを持つために、2つの考えをもとに、自分の考えを見直し、学習問題の答えをまとめる。さらに、環境局の□□さんからのビデオレターを紹介し、ゴミ袋の有料化によって、市民一人一人のゴミ減量への意識付けをしたかったことを確認させる。</p> <p>○ 自分の考えの変容に気付かせるために、友だちの考えを聞いて考えが変わった点を中心に繰り返させる。</p>